

新規 Nrf2 活性化薬 SCO-116 をカバーする物質特許が米国で登録されました

アンメットニーズの高い生活習慣病の治療薬開発に取り組む日本のバイオテクノロジー企業である株式会社スコヒアファーマ(以下、「当社」と)、眼科および皮膚科領域における新規治療薬の開発を行う米国の製薬企業であるKurial Therapeutics, Inc.(以下「Kurial社」)は、Kurial社が眼科および皮膚科領域の疾患の予防および治療を目的として開発している新規Nrf2活性化薬SCO-116に関する物質特許が米国特許庁により登録されたことを発表しました。

米国特許11,518,763は、当社が発見したSCO-116を含む新規大環状化合物シリーズを対象とし、Nrf2を活性化して酸化ストレスや炎症に関わる幅広い疾患に有用であるとしています。Nrf2経路は、抗酸化反応のマスターレギュレーターとして広く認識されており、外部からの刺激や病原体に対する細胞の防御、および炎症反応の調節に重要な役割を担っています。この米国特許は当社が単独で所有し、Kurial社は眼科および皮膚科疾患の局所治療薬としてSCO-116を開発する全世界での独占的ライセンスを有しています。Kurial社に独占的にライセンスされている権利を除き、SCO-116の全世界における権利は当社が留保しています。

当社の代表取締役社長CEO兼CSOである渡部正教は、次のように述べています。「当社研究所で発見された新規化合物について、米国特許庁により重要な特許が登録されたことを嬉しく思います。当社はアンメットメディカルニーズに応える新規医薬品の創製に取り組んでおり、今回の特許は、当社の創造性とイノベーションへの情熱を示すものです。」

Kurial社の社長兼CEOのKeith Ward博士は、次のように述べています。「SCO-116をカバーする米国特許の登録は、当社にとっても重要な進展です。昨年、皮膚疾患及び眼疾患を対象とした局所製剤の開発権をライセンスした際、この進展に確信を持っていました。当社の重要な開発品をカバーする物質特許の取得は、Kurialにとって重要なマイルストーンとなります。」

【SCO-116について】

SCO-116は、当社が創製した新規の非共有結合型 Nrf2活性化薬であり、Nrf2とKEAP1*の相互作用

用を選択的に阻害します。開発ステージにある他の多くの共有結合型Nrf2活性化薬とは異なり、より良好な安全性プロファイルを示すことが期待されます。ラットとサルを用いた一週間の毒性試験においてSCO-116は良好な安全性及び忍容性プロファイル示すことが確認されています。SCO-116は、眼および皮膚疾患に加えて慢性腎臓病、糖尿病性腎臓病、非アルコール性脂肪肝炎を含む肝臓疾患、肺疾患等、アンメットメディカルニーズの高い様々な疾患を予防・治療する可能性があります。SCO-116の情報については、<https://www.scohia.com/sys/pipeline/sco-116/>もご参照ください。

* KEAP1はNrf2の調節因子であり、Nrf2をユビキチン化及びそれに続くプロテアソーム依存的な分解の標的とする機能を持ちます。

【Kuria Therapeutics, Inc.について】

Kuria Therapeutics, Inc.は、米国を拠点とする製薬企業で、眼科および皮膚科疾患向けの新規治療薬の開発に取り組んでいます。Kuria社は経験豊富なライフサイエンス分野の経営者及び起業家で構成されるチームを有しており、それぞれがバイオテクノロジー企業の設立、複数国をまたぐ複雑なグローバル開発プログラムの運営、パートナーとのアライアスマネジメント、臨床医・投資家・ベンダー・患者団体との関係構築等において数十年の経験を有しています。Kuria社に関する詳細情報は、www.kuriatx.comをご参照ください。

【株式会社スコヒアファーマについて】

株式会社スコヒアファーマは、循環、代謝・腎等の生活習慣病領域のうち高いアンメットニーズが残る疾患に対する医薬品の創出にフォーカスする創薬系バイオベンチャーです。当社の特徴は、潤沢な研究開発パイプラインと、化合物創製・薬効評価・臨床開発等の各創薬プロセスにおいて医薬品開発のトラックレコードを持つ研究開発チームにあります。当社の詳細情報につきましては、<https://www.scohia.com/>をご参照ください。

以上

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社スコヒアファーマ:

info@scohia.com